

山本商運株式会社

平成28年第6回 安全運転・研修会

**2016年11月12日(土)15時～
唐崎公民館**

【本日の議題】

■ 今年の冬は寒い？ 暖冬？

～気象庁発表資料より～

■ 気象条件による危険を読む

～雨・霧・風・雪の危険予測～

(DVD視聴15分)

■ 今年の冬は寒い？ 暖冬？

～気象庁発表資料より～

平成28年9月9日(金)に、

「ラニーニャ現象」の発生が
発表されました。

「ラニーニャ現象」が続く冬は、
日本では**気温が低くなる傾向**です。

2016-2017

もしかして
寒くなるの？

いつもの冬より寒いかも・・・



「ラニーニャ現象」の発生は5年ぶりです。

（前回は2010年夏から2011年春）

当初予想の春から遅れての発生です。

冬に「ラニーニャ現象」が続くと、

日本では厳冬となり大雪が心配****

されます。

▼気象庁の寒候期予報では・・

今年12月から来年2月にかけての冬は、「ラニーニャ現象」により偏西風が蛇行する影響で、**西日本を中心に気温が平年より低くなる見込み**です。

▼ラニーニャ現象とは？

南米ペルー沖から太平洋の赤道付近にかけて、海水温が平年に比べて低い状態が1年程度続く現象。

この「ラニーニャ現象」が続くと日本では・・・

- 夏の気温が高く暑くなる傾向。
- 沖縄・奄美・九州地方の降水量が多くなる傾向。
- **冬は寒くなる傾向。**

▼最近のラニーニャ現象の冬

2010年（平成22年）の夏から、2011年（平成23年）の春に発生しています。

この間の冬は、12月下旬から翌1月末にかけて、日本海側の広い範囲で大雪になり、全国的に気温が低い状況でした。

（2010年の夏は、記録的な猛暑でした。）

▼寒い冬に注意したいこと！

気温が低くなると空気は乾燥し、インフルエンザなどウィルス性の病気が流行しやすくなります。

また、火災の発生も増えてきます。

今年は夏の気温が高かったこともあり、秋以降の急な気温低下は、体調に影響を与える場合があります。

▼この冬はインフルエンザ (A香港型) が流行の兆し

2016年は9月から、インフルエンザの感染者が報告されています。10月中旬までに確認されている型は、インフルエンザA香港型 (AH3) が29件で、Aソ連型 (5件)、B型 (1件) に比べ多くなっています。

A香港型 (AH3) は、もっとも流行しやすいといわれる型です。

主な特徴は・・・

- 急な高熱 (38℃以上) と頭痛
- 体の節々の痛みや筋肉痛
- 全身の倦怠感など

まとめ

- 2016年冬から2017年にかけては**厳冬**になると予想！
- 日本海側では2010年のような**大雪**になる可能性があり！
- 平均気温としては高めだが、**寒暖差が激しく身にしみる寒さ**になる！